

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月11日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	64,924	3.5	10,089	6.6	10,859	7.1	6,167	4.3
25年3月期第2四半期	62,747	1.0	9,464	3.9	10,135	1.9	5,911	12.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,706百万円 (△10.3%) 25年3月期第2四半期 6,360百万円 (32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	103.27	—
25年3月期第2四半期	94.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	160,771	103,928	64.0
25年3月期	159,479	100,315	62.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 102,822百万円 25年3月期 99,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日（平成25年11月11日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」
をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	0.9	19,000	3.3	20,400	△8.4	12,000	△6.4	200.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	59,725,000株	25年3月期	59,725,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,714株	25年3月期	2,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	59,722,286株	25年3月期2Q	62,379,823株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日、以下「当第2四半期」という。)におけるわが国経済は、堅調な米国経済や円安による輸出の持ち直しに加えて消費が底堅く推移し、企業の好業績を反映して投資意欲が高まりました。一方で、円安・株高などを背景に上向いていた個人の景況感は、物価上昇による家計の負担増懸念など先行きが不透明な状況で推移いたしました。

この様ななか当社グループは、業務用カラオケ事業においては、各市場のニーズにきめ細かく対応する商品ラインアップを整え、全市場に向けたDAM拡販に注力いたしました。カラオケ・飲食店舗事業では、既存店舗の集客や顧客満足度向上に取り組むとともに、幅広い顧客層に対応するべく収益基盤の多様化と拡大に注力いたしました。音楽ソフト事業におきましては、話題の映画作品のサウンドトラックなどを発売いたしました。

以上の結果、音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となり、当第2四半期の売上高は64,924百万円(前年同期比3.5%増)となり、第2四半期連結累計期間における過去最高を更新いたしました。利益面におきましては、カラオケ・飲食店舗事業が減益となりましたが、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業、その他の事業が増益となり、営業利益は10,089百万円(同6.6%増)、経常利益は10,859百万円(同7.1%増)、四半期純利益は6,167百万円(同4.3%増)となり、それぞれ第2四半期連結累計期間における過去最高を更新いたしました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	62,747	64,924	2,176	3.5%
営業利益	9,464	10,089	625	6.6%
経常利益	10,135	10,859	724	7.1%
四半期純利益	5,911	6,167	256	4.3%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、主力市場であるデイ(カラオケルーム)及びナイト市場に対して、「LIVE DAM」シリーズとタブレット型ポータブル端末「Smart DAM」の連動企画として、人気アーティストを起用した採点コンテンツを投入し、機器の拡販に努めました。加えて、新規成長分野であるエルダー市場では、研修などによる営業体制の強化を図り、市場深耕を進めました。これによりDAM稼働台数および機器賃貸契約件数は順調に増加いたしました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	31,895	33,736	1,841	5.8%
営業利益	6,586	7,327	740	11.2%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、この9月に25周年を迎えたカラオケルーム「ビッグエコー」が、感謝キャンペーンを実施するとともに、引き続きマルチブランド展開やコンセプトルーム、コラボルーム企画などを実施いたしました。また、「ビッグエコー」と飲食店舗のシナジーを活かした複合出店戦略の推進と機動的な飲食店舗のブランド変更などにより、高収益店舗の構築に注力いたしました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	22,016	22,782	766	3.5%
営業利益	3,288	3,103	△184	△5.6%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、「北島三郎」や「水森かおり」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」など若手J-POP系作品や話題のスタジオジブリ映画「風立ちぬ」のサウンドトラック、有力アーティストのベストアルバムやトリビュートアルバムが収益に貢献いたしました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	4,895	4,772	△123	△2.5%
営業利益	399	403	4	1.1%

(その他)

当事業におきましては、7月より、光回線を活用したBGM放送「スターデジオ光」のサービスを開始いたしました。携帯電話向けコンテンツサービスにおいては、コストの低減に努めました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	3,940	3,632	△307	△7.8%
営業利益	652	691	39	6.0%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,291百万円増加し、160,771百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、その他に含まれる前払費用が1,196百万円及び、現金及び預金が825百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が1,842百万円減少しております。

固定資産では、土地が1,609百万円及びカラオケ賃貸機器が1,021百万円それぞれ増加し、投資有価証券が984百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ2,321百万円減少し、56,842百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、賞与引当金が444百万円及び、支払手形及び買掛金が295百万円それぞれ増加し、その他に含まれる未払金が2,935百万円減少しております。

固定負債では、退職給付引当金が219百万円増加し、長期借入金が604百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,613百万円増加し、103,928百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加6,167百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少2,090百万円及び、その他有価証券評価差額金の減少611百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,108百万円増加し、43,071百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が10,660百万円、減価償却実施額が6,293百万円、売上債権の減少額が1,867百万円、法人税等の支払額が4,544百万円、未払金の減少額が1,907百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ781百万円増加し、12,746百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が6,214百万円、無形固定資産の取得による支出が1,689百万円、映像使用許諾権の取得による支出が1,000百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ797百万円増加し、9,109百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、長期借入れによる収入が1,260百万円、配当金の支払額が2,090百万円及び長期借入金の返済による支出が1,726百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ8,325百万円増加し、2,503百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年8月5日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,248	42,074
受取手形及び売掛金	8,337	6,494
たな卸資産	6,178	6,281
その他	6,735	7,879
貸倒引当金	△134	△123
流動資産合計	62,365	62,606
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器(純額)	7,598	8,620
カラオケルーム及び飲食店舗設備(純額)	15,251	15,488
土地	24,497	26,107
その他(純額)	7,135	5,490
有形固定資産合計	54,484	55,706
無形固定資産		
のれん	405	327
その他	5,956	5,834
無形固定資産合計	6,361	6,162
投資その他の資産		
投資有価証券	18,998	18,014
敷金及び保証金	13,060	13,407
その他	4,355	5,019
貸倒引当金	△146	△144
投資その他の資産合計	36,268	36,295
固定資産合計	97,113	98,164
資産合計	159,479	160,771

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,540	4,836
短期借入金	4,836	5,048
未払法人税等	4,524	4,655
賞与引当金	1,063	1,508
その他	12,419	9,209
流動負債合計	27,384	25,258
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	14,151	13,546
退職給付引当金	3,683	3,902
役員退職慰労引当金	2,088	2,151
その他	1,856	1,982
固定負債合計	31,780	31,584
負債合計	59,164	56,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	6,026	6,026
利益剰余金	78,119	82,196
自己株式	△5	△5
株主資本合計	96,490	100,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,646	3,034
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	△100	△1
その他の包括利益累計額合計	2,768	2,254
少数株主持分	1,056	1,106
純資産合計	100,315	103,928
負債純資産合計	159,479	160,771

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	62,747	64,924
売上原価	36,620	37,522
売上総利益	26,127	27,402
販売費及び一般管理費	16,663	17,312
営業利益	9,464	10,089
営業外収益		
受取利息	330	386
受取協賛金	229	231
受取補償金	—	148
その他	414	436
営業外収益合計	973	1,203
営業外費用		
支払利息	142	147
為替差損	18	173
その他	142	112
営業外費用合計	302	433
経常利益	10,135	10,859
特別利益		
固定資産売却益	31	3
特別利益合計	31	3
特別損失		
固定資産処分損	102	135
減損損失	60	63
その他	—	2
特別損失合計	162	202
税金等調整前四半期純利益	10,004	10,660
法人税、住民税及び事業税	4,073	4,765
法人税等調整額	△22	△325
法人税等合計	4,051	4,440
少数株主損益調整前四半期純利益	5,952	6,220
少数株主利益	40	52
四半期純利益	5,911	6,167

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,952	6,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	444	△611
為替換算調整勘定	△36	98
その他の包括利益合計	408	△513
四半期包括利益	6,360	5,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,319	5,654
少数株主に係る四半期包括利益	40	52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,004	10,660
減価償却費	6,441	6,293
減損損失	60	63
負ののれん償却額	△21	△16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△11
賞与引当金の増減額(△は減少)	306	444
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△293	63
受取利息及び受取配当金	△380	△473
支払利息	142	147
為替差損益(△は益)	18	105
固定資産処分損益(△は益)	70	132
売上債権の増減額(△は増加)	438	1,867
たな卸資産の増減額(△は増加)	△72	△96
カラオケ貸貸機器の売上原価振替	155	210
仕入債務の増減額(△は減少)	1,853	273
未払金の増減額(△は減少)	△771	△1,907
その他	△840	△811
小計	17,121	16,945
利息及び配当金の受取額	392	491
利息の支払額	△146	△146
法人税等の支払額	△5,402	△4,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,965	12,746
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期性預金の預入による支出	△47	△39
定期性預金の払戻による収入	64	148
有形固定資産の取得による支出	△5,051	△6,214
有形固定資産の売却による収入	32	7
無形固定資産の取得による支出	△1,816	△1,689
映像使用許諾権の取得による支出	△806	△1,000
投資有価証券の取得による支出	△521	—
貸付けによる支出	△112	△354
貸付金の回収による収入	509	343
敷金及び保証金の差入による支出	△486	△553
敷金及び保証金の回収による収入	266	247
その他	△343	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,311	△9,109

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	77	75
長期借入れによる収入	1,850	1,260
長期借入金の返済による支出	△2,481	△1,726
社債の発行による収入	9,946	—
配当金の支払額	△1,882	△2,090
自己株式の取得による支出	△1,667	—
その他	△21	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,821	△2,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,447	1,108
現金及び現金同等物の期首残高	34,367	41,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,814	43,071

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	31,895	22,016	4,895	58,807	3,940	62,747	—	62,747
セグメント利益 (営業利益)	6,586	3,288	399	10,273	652	10,925	△1,461	9,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,461百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	33,736	22,782	4,772	61,291	3,632	64,924	—	64,924
セグメント利益 (営業利益)	7,327	3,103	403	10,834	691	11,526	△1,436	10,089

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業(衛星放送事業を改称)、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,436百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。